

映画班、ほぼ撮影終了へ。90時間撮影終了、残り20時間の撮影を予定。

映画上映と記念まつり成功のための地域推進チームが始動。

撮影がほぼ終了するのに合わせて、南医療生協の各支部で「映画上映」と南医療生協の50年企画の「記念まつり」を成功させるための地域推進チームが発足しました。

映画制作チームの会議では、監督さんからは「映画の柱は7つある」と、7つのストーリーを中心となった映画構成になるとのことが明らかになりました。しかし、具体的な中身はまだ「まだ、話せない」として、「皆さんの期待以上の作品にしたい」との意気込みを語られていました。

支部や職場で、チケット普及しよう。



健康づくりフェスティバル
(3月20日)
チケット普及を開始します。

スケジュール

- 1月 各ブロックで地域推進チーム体制を検討
- 2月 地域推進チーム発足
- 3月 映画案内、チケットの普及
パンフレット協賛広告の案内
健康づくりフェスティバルで普及開始
- 5月 映画上映やまつりの会場を決定



グループホーム
なもにて

グループホームなもの撮影の様子。

狭い部屋をひと部屋ひと部屋撮影していきます。丁寧に撮影をするので、時間はかなりかかります。

先日は、なもの密着撮影。朝7時からよる10時過ぎまで撮影を行いました。

映画撮影が重労働で忍耐のいる仕事だと言うことが、あらためて知らされました。利用者の皆さんは、監督さん達を「怪しい人」と警戒していました。

作曲家 森拓治氏登場

『いのちの作法 沢内「生命行政」を継ぐ者たち』(2008年)、『1000年の山古志』(2009年)、『葦牙-あしかび-こどもが拓く未来』(2009年)の作曲をされた森氏が、今回の映画の曲作りのため南医療生協に来られました。